

事業者インタビュー



飯沼社長

女性ドライバーや若年層ドライバーの採用状況について

- ★ 若年層ドライバーの採用は定期的にはやっておりませんが、仕事量の傾向や労働時間の短縮化の動向をみながら必要に応じ行っています。

女性ドライバーや若年層ドライバーの評判について

- ★ 若いドライバーが元気な声で挨拶してくれるのが気持ち良いと評判はとても良いです。

運転免許の養成制度や社員教育の実施状況などについて

- ★ 従来から、若手運転手に対して大型免許の取得を奨励しています。神奈川県トラック協会からの補助金も含めて、個人負担することなく大型免許を取得してもらっています。直近の例では21歳の若手が普通免許保有で入社し、免許取得に係る費用は会社で負担し、就業時間中に教習所へ通学し大型免許を取得しました。

ドライバーの将来的なキャリアアップの方向性について

- ★ 資格要件としては、会社負担で大型免許の取得、運行管理者及び整備管理者の資格所得をさせています。また、年齢が高くなるとともに、運転する車両、仕事内容を変化させるようにしています。

女性専用の休憩室や宿舎など、特別な施設の整備状況について

- ★ 残念ながら現在女性ドライバーの在籍はありませんが今後、女性ドライバーを採用する際は検討していきます。

事業者インタビュー

パートタイム制や時短勤務制度の導入など、雇用促進に関する工夫について

★ 荷物の搬送を、積み込み、運行、荷下ろし、運行の4つの部門に分け、従来は全てを一人の運転手がやっていたが、どの部門の時間が掛かるか分析し、積み込み時間が掛かっていることがわかり、積み込み専用の運転手を採用し、予備車両も導入し運転手の拘束時間の削減を図っています。また、最近の若者のガツガツ働いて高収入を得ることより、収入はソコソコでも自分の時間を持ちたがる傾向を考慮して、配車に公平さと個人の事情を考慮した傾斜配分の両立を心がけています。

自社におけるPRポイントについて

★ 当社は運転手同士の仲間意識が高く、Team FUKOKUとしてお互いに切磋琢磨して輸送の品質の向上を目指しています。また、収入面においても、20代・30代は他の業種より多く給与を得ることができ、若くして、自分の家をもったり、自分の趣味にお金をかけたりする運転手が多いです。

ドライバーを目指す方へのメッセージ

★ ドライバーは昔のトラック野郎ではなく、仲間とチームを組み行っていくやりがいのある仕事です。コンビニやスーパーに買い物に行けば何時でも商品が潤沢に並んでいるし、自動販売機では何時でも飲み物が買えるし、ネット通販などで商品を注文すれば翌日には手元に届くなど、世の中の人々が当たり前と思っていることを支えているのが我々物流事業者でその主役がドライバーです。また、産業面でも日本が世界に自慢できる自動車産業のJITや看板方式などを支えているのも物流業界です。そして、東日本大震災や九州熊本地震などの災害がおこったら、その被災地に救援物資をいち早く届けたのも我々物流業界です。ドライバーはその物流業界の一番の主役ですので、大変やりがいのある重要な仕事です。

トラック事業者の方へ、雇用促進に向けたアドバイス

★ 以前は自動車好きの若者が多数おり、黙っていても向こうからドライバーになり手がやってきました。しかし、若者の車離れや免許制度の変更で直接ドライバーになる道が非常に狭くなってきています。これからは、免許を持った若者のドライバーを採用するのではなく、自分（自社）で免許のない若者をドライバーに育てるという考え方が必要になると思います。もちろん、それを一つの会社でやるのは経済的にも余裕のない会社がほとんどだと思われるので、行政やトラック協会などの業界団体の力を借りて業界全体で若者に働きかけていくことが重要だと思います。